

最近5万年間の広域テフラの年代研究 Chronological study on widespread tephra for the past 50,000 years in and around Japanese Islands

奥野 充^{1*}; 鳥井 真之²; 中村 俊夫³
OKUNO, Mitsuru^{1*}; TORII, Masayuki²; NAKAMURA, Toshio³

¹ 福岡大・理, ² 熊本大・自然, ³ 名古屋大・年代セ
¹Fac. Sci., Fukuoka Univ., ²Grad. Sch., Sci. Tech., Kumamoto Univ., ³CCR, Nagoya Univ.

始良 Tn (AT) の発見以降, 多数の広域テフラが知られるようになった. 支笏第1 (Spfa-1) 以降の最近5万年間のテフラは, 放射性炭素 (¹⁴C) 年代測定法が適用でき, 暦年較正データセット IntCal13 によりすべての暦年較正が可能になった. 一方, 海域や湖沼でのコア試料解析でも, 挟在するテフラの層位や年代が高精度化されている. この発表では, 最近5万年間の広域テフラについての年代学的研究を概観し, 今後を展望する.

キーワード: 広域テフラ, 放射性炭素年代
Keywords: widespread tephra, radiocarbon dating